

I 令和6年度事業報告

えひめ地域活力創造センター（tiliki）は、令和4年4月に組織を再編し、愛媛県の人口減少対策の方向性を踏まえ、活動の軸足を移住促進及び交流人口の拡大に置くとともに、①移住交流促進、②地域活性化促進、③人材育成促進を事業の3本柱に位置付けた。

また、それまでのシンクタンク型組織から、「人口減少社会における地域の活力創造」を目的とした価値創造志向の実践型組織へとシフトを図り、中期的な活動方針を策定して、既存事業のブラッシュアップとともに、地域づくり団体や経済団体と連携した事業を積極的に実施するなど、前向きで効果的な事業運営に努めている。

《今後5年間を見据えたセンター活動方針》R4.4 策定

- 県の人口減少対策の方針を踏まえ、移住促進・交流人口増に軸足を置いた事業遂行により「重点戦略」の目標に寄与
- 価値創造思考の実践型組織として前向きで機動的・効果的な姿勢を徹底
- マネジメント力強化と業務の効率化を図り、限られた財源の範囲で貴重な人的資源を有効活用し、新たな施策を積極展開
- 市町、団体、大学、民間等との連携により、人口減少問題に立ち向かう地域を、様々な機関が連動して多角的に支援するハブ的機能を目指す

令和6年度は、地域の特性に応じた自主的、主体的な取組みを後押しする現場伴走型の組織として、実践的な施策の推進に取り組んだ。

1 移住交流促進事業

センター内に設置の「愛媛ふるさと暮らし応援センター」の機動的な運営を図るとともに、センターに駐在する愛媛県地域政策課移住推進グループと一体となって、更なる移住促進や若年層の転出抑制による定住人口の確保、それを補う交流人口や関係人口の拡大を図った。

(1)愛媛ふるさと暮らし応援センター運営事業

（愛媛県から受託）

センター内に移住相談窓口「愛媛ふるさと暮らし応援センター」を設置・運営し、移住促進に係る受入側と希望側の多様なニーズにきめ細かくかつ柔軟・的確に対応した。

- ・市町の移住者誘致の取組みに対する個別指導・助言
- ・移住希望者に対する移住先の紹介及び市町への取次ぎ
- ・移住動向の調査分析
- ・移住パンフレット「えひめ暮らし」の改訂
- ・県や市町における移住関連イベントの開催支援
- ・えひめ移住応援隊・えひめ愛着倶楽部の運営

名称	内容	登録数	R5 年度
えひめ移住応援隊	本県の移住促進の取組みに賛同し、愛着倶楽部会員に各種料金の割引やサービス、移住検討や定住に役立つ地域の情報を提供	86 事業者	9 事業者
えひめ愛着倶楽部	県が指定する移住イベントに参加するなど、愛媛県に興味を持ち、将来的に愛媛県への移住を考えている方	392 名	124 名

(2)愛媛ふるさと暮らし応援センター情報発信等事業

(えひめ移住交流促進協議会から受託)

移住相談窓口「愛媛ふるさと暮らし応援センター」において情報発信の強化に取り組んだ。

①「えひめ移住ネット」及び「えひめ空き家情報バンク」の運営及び内容の充実

開設日	掲載情報	閲覧者等
H19.9.10	・住居・就労・生活関連情報 (市町 HP へのリンク等) ・移住経験者の体験談 ・移住関連イベント情報 ・住まい(空き家)情報	・えひめ移住ネット 閲覧者数：259,620 人 ・えひめ空き家情報バンク 登録物件数：201 件 成約物件数：16 件 (うち県外移住者成約数：9 件)

②全国移住フェアへの出展、広域連携による移住・交流イベントの運営補助

	日付	名称	場所	出展団体	来場者数	相談件数
1	R6.7.20(土)	おいでや！いなか暮らしフェア	大阪	県 3市町	949 組 2,469 名	53 件
2	R6.9.21(土) 9.22(日)	ふるさと回帰フェア	東京	県 6市町	約 28,800 名	148 件
3	R6.10.5(土)	四国暮らしフェア	東京	県 7市町	150 組 220 名	94 件
4	R6.10.19(土)	中国四国もうひとつのふるさと探しフェア	大阪	県 4市町 1協議会	125 組 165 名	56 件
5	R6.12.7(土) 12.8(日)	JOIN 移住・交流&地域おこしフェア	東京	県 5市町	3,358 名	118 件
計						469 件

③移住体験希望者の受入れ「えひめ de 仕事体験」

・申込件数：10 件、実施件数：3 件

実施事業者	実施件数	実施日
合同会社アソビ社	1 件	R6.12.5～12.8
株式会社ふたみファーム	1 件	R6.12.17～12.19
農事組合法人無茶々園	1 件	R6.12.21～12.23

④PR ツールの作成

・「おかえり愛媛通信」 1,500 部

⑤えひめ地域移住相談員の育成強化

・地域移住相談員交流研修会の開催

日付	場所	内容	参加者数
R6.6.7(金)	愛媛県生活文化センター (松山市)	1 愛媛県の移住施策について (1)愛媛県の移住施策について (県地域政策課) (2)令和6年度えひめ地域活力創造 センター運営事業について (tiliki) 2 トークセッション「移住相談について」(えひめ移住コンシェルジュ) 3 実践演習 (グループワーク)	44 名

(3)えひめの移住力総合強化事業 (愛媛県から受託)

全国的に加速化している都市部から地方への移住・交流の流れを捉え、地域の担い手となる移住希望者を確保するため、市町及び関連団体等と連携し、メインターゲットである若者世代(20代・30代)とのマッチングを図る移住フェアを東京・大阪で開催するとともに、オンライン移住フェアを開催した。

①対面式移住フェアの開催

	日付	場所	出展団体	来場者数	相談件数
1	R6.7.27(土)	東京	28(県・20市町・7団体)	146組 185名	376件
2	R6.9.1(日)	大阪	台風接近のため中止		
3	R6.12.14(土)	大阪	28(県・20市町・7団体)	115組 155名	331件
4	R7.2.2(日)	東京	29(県・20市町・8団体)	153組 229名	421件
5	R7.3.1(土)	大阪	24(県・15市町・8団体)	82組 119人	239件
計				496組 688名	1,367件

②オンライン移住フェアの開催

	日付	名称	参加者数
1	R6.6.4(火)	移住検討の“ファーストステップ”セミナー (第1回)	30名
2	R6.7.2(火)	移住検討の“ファーストステップ”セミナー (第2回)	22名
3	R6.10.1(火)	えひめで暮らそう！ 住まい探し編	28名
4	R6.10.29(火)	えひめで暮らそう！ お仕事編	48名
5	R7.1.14(火)	えひめで暮らそう！ 相談でみつける理想の暮らし編	16名
6	R7.2.25(火)	えひめで暮らそう！ 趣味で楽しむえひめ暮らし編	31名
計			175名

(4)南予移住拡大事業 (愛媛県から受託)

県内の中でも人口減少率や高齢化率が突出して高い南予地域の担い手となる移住者

誘致の拡大を図るため、南予移住マネージャーを配置し、南予への移住促進に向けた受入体制と人的ネットワークの強化、各市町や地域への移住促進に向けた仕組みの構築を図った。

〈南予移住マネージャー〉 山口 聡子

〈設置場所〉 南予テレワーク移住支援拠点 COWORKING-HUB nanyo sign

(喜多郡内子町内子 2023 内子まちの駅「Nanze」 2 階)

① 南予移住者交流会の開催

南予地域への移住者や地域住民などを対象とした交流会を開催し、移住者ネットワークの形成を通じた移住希望者の受け皿づくり及び多様な主体が参画した地域レベルでの人が人と呼び込む体制づくりの促進を図った。

	日付	場所	内容	参加者数
1	R6.12.1(日)	卯之町駅前 複合施設 ゆるりあん (西予市)	1 ワークショップ ①クリスマスリースづくり ②真珠アクセサリーづくり 2 利きみかんジュースコーナー	105 名

②南予移住促進連絡会議の開催

南予 9 市町における好事例の横展開や、複数市町連携による受入体制づくりなどに向けた意見交換の場として開催した。

	日付	場所	内容
1	R6.5.13(月)	南予サイン (内子町)	・移住実績及び南予移住拡大事業について ・令和 6 年度南予移住マネージャーの活動について ・移住と雇用のマッチング促進事業について
2	R6.9.26(木)	宇和島市役所 (宇和島市)	・宇和島市の事例発表 ・令和 6 年度広域連携事業について ・南予子育て移住促進協議会について

(5)南予子育て移住促進協議会事業

(南予子育て移住促進協議会から受託)

人口減少率が県内平均を大きく上回るとともに、県内で唯一、人口・世帯数ともに減少している南予地域への移住促進を図るため、南予 5 市町(宇和島市、八幡浜市、大洲市、西予市、内子町)を対象に、子育て世帯及び将来の子育て世帯(若年者夫婦)をターゲットにした移住施策を展開した。

①大都市圏での移住フェアの開催

	日程	場所	内容	来場組数
1	R6.6.23(日)	EBISU SHOWROOM (東京都)	・参加市町の概要説明 ・移住体験ツアーの案内 ・先輩移住子育て世帯の紹介 ・交流会・個別相談	7 組 (うち、子育て 世帯 3 組)
2	R6.7.7(日)	FUN SPACE DINER (大阪府)	・参加市町の概要説明 ・移住体験ツアーの案内 ・参加市町との交流 ・個別移住相談	2 組 (うち、子育て 世帯 0 組)

3	R7.1.19(日)	OMMビル (大阪府)	・参加市町の概要説明 ・移住者講演 ・ランチ交流会（南予の食の提供） ・地域おこし協力隊募集PR ・個別移住相談	42組 (うち、子育て 世帯 6組)
計				51組 (うち、子育て 世帯 9組)

② オーダーメイド型移住体験ツアーの運営（新規）

- ・申込数 12世帯・41名
- ・実施数 7世帯・23名
- ・体験市町 宇和島市3世帯、八幡浜市2世帯、大洲市6世帯、西予市3世帯、内子町3世帯（※重複あり）

② PRツールの作成（新規）

南予地域の暮らしや子育て環境を紹介するパンフレットを作成し、えひめ移住コンシェルジュが常駐する東京及び大阪移住相談窓口などでの活用により、南予地域の魅力を発信した。

(6) 移住と雇用のマッチング促進支援事業

南予地域の事業者の求人等に対する実態把握を実施したうえで、移住と雇用のマッチング促進に向けて、求人情報の登録・発信など本事業の仕組みを構築した。

〈共催〉愛媛県商工会議所連合会、愛媛県商工会連合会

① アンケート調査の実施

- ・調査項目 県外求職者の雇用希望・移住者の雇用状況・求人方法など
- ・調査期間 令和6年7月～8月
- ・調査対象 南予地域の事業者（商工会議所・商工会会員）
- ・回答数 131社
- ・回答結果 移住者を積極的に雇用したい30%、条件次第では雇用したい43%

② 南予事業者講習会「移住希望者に届く求人とは」開催

	日付	場所	内容	参加事業者数
1	R6.10.25(金)	八幡浜 商工会議所	・事業の概要説明 ・移住者雇用の実態 (アンケート集計結果)	13社 (16名)
2	R6.10.29(火)	宇和島 商工会議所	・ワークショップ 「移住希望者に届く求人票の作成」	14社 (17名)
3	R6.10.30(水)	大洲 商工会議所	・第三者承継の推進について ・県公式求人サイト「あのこの愛媛」 の活用について	20社 (24名)

③ 求人情報の登録及び発信

- ・求人情報の登録（R6.11開始）
登録件数 25件（宇和島24件、八幡浜1件）
- ・求人情報の発信
えひめ移住ネット
移住フェア（東京1回、大阪2回）

2 地域活性化促進事業

センター職員がアドバイザーとして現場に飛び込み、市町や地域づくりの担い手の方々と一緒に活動し、地域の資源や特性を生かして交流と賑わいの創出を図った。

(1) えひめ地域活力創造フォーラム開催事業

地域づくりに関するタイムリーなテーマでフォーラムを開催し、地域づくりに関わる方々の更なる意識醸成を図った。

今年度は、山梨県富士吉田市で学生を対象とした地域教育プログラム開発事業に取り組んでいるNPOの代表を講師として招聘し、同市で行政や学校、地域と連携して行われる地域の課題解決に向けた教育プログラムの実践について、学生の声も交えた講演を実施し、サードプレイスを核として、高校生など若者の地域活動という新たな取り組みの成果を共有した。

また、県内事例として上浮穴高校の放課後ラボの活動を紹介するとともに久万高原町で地域活動に関わる中間支援組織の代表や関係者などを交えたパネルディスカッションを実施し、意見交換を行った。

〈第3回愛媛地域活力創造フォーラム〉

- ・テーマ 「自分をかえる、地域をかえる～世代ブレンドで魅力ある地域をつくる～」
- ・日 程 令和6年10月12日(土)
- ・会 場 愛媛大学メディアセンターメディアホール
- ・基調講演 講師：斎藤 和真（NPO法人かえる舎 代表理事）
- ・事例紹介 愛媛県立上浮穴高校 放課後ラボ
- ・パネルディスカッション「世代ブレンド～とけあう地域へ～」
ファシリテーター：板垣 義男（一般社団法人えひめ暮らしネットワーク代表、一般社団法人ゆりラボ代表）
インタープリター：一柳 帆花（一般社団法人ゆりラボサポーター、愛媛大学社会共創学部生）
パネリスト： 斎藤 和真（NPO法人かえる舎 代表理事）
笠松 浩樹（愛媛大学社会共創学部准教授）
高橋 花梨（愛媛県立上浮穴高校生）
安部井愛瑠奈（かえる舎所属高校生）※ZOOM出演
小俣 遥南（かえる舎所属高校生）※ZOOM出演
- ・共 催 愛媛大学社会連携推進機構地域共創研究センター、愛媛大学社会共創学部、（一社）えひめ暮らしネットワーク、えひめ地域づくり研究会議
- ・参加者 33名

(2) 持続可能な地域運営実践支援プラットフォーム構築事業

センターと関係機関が連携・協力してプラットフォームを構築し、地域の持続的発展に有効な対策や実効性の高いノウハウなどを提供することで、地域運営組織（RMO）の自立的活動をサポートするとともに、地域運営の実践例を横展開するなどの各種事業を実施し、集落機能の維持と地域の魅力創出、関係人口の増を図った。

①先進地視察 先進地での学びや体験から、地域の新たな可能性を見つける

日付	派遣 RMO	派遣先	視察内容
R6.9.4(水) ～6(金)	ステラ新宮	島根県仁多郡 奥出雲町	観光地域づくりを通じた地域資源の活用や旅行商品の制作方法
R6.9.18(水) ～20(金)	みらいの関川を 考える会	島根県益田市	地域の未来の担い手づくり、地域活力の維持を目指す取組

R6.10.6(日) ～8(火)	横林自治振興 協議会	山形県置賜郡 川西町・小国町	農産物ブランド化、福祉有償運送、 地域計画、中間支援組織の機能など
R6.11.21(木) ～23(土)	かりとり もさくの会	北海道十勝郡 東川町	ふるさと納税返礼品制作方法と運営
R7.1.27(月) ～28(火)	魚成地域振興会	広島県庄原市 ・三次市	農村 RMO の設立と活動、地域の合 意形成
R7.3.14(金) ～16(日)	(一社)ゆりラボ	山梨県富士吉田市	高校生を対象とした地域での教育プ ログラム

②研修派遣 地域課題のテーマを選び、現場で集中的に学び交流する

日付	派遣 RMO	研修先	研修内容
R6.11.21(木) ～23(土)	横林自治振興 協議会	鳥取県 日南町	(一社)地域活性化センター主催「中山間地域の モデルを創るまちづくりの実践～森林資源を活 用した SDGs×官民連携による創造的過疎のま ちづくり～」
R7.2.28(金) ～3.2(日)	みらいの関川 を考える会	島根県 益田市	益田市のひとまち集会実行委員会主催「ますだ ひとまち集会 2025 (やってみたいが生まれるま ち。やってみようを応援するひと～地域も学校 も みんなでつくるまちを目指して～)」

③専門家マッチング 課題解決に向けて専門家を派遣し地域運営を高次化する

RMO	専門家	内容	派遣日
かりとり もさくの会	(一社)リズカーレ 代表理事 安形 真	法人化支援	第1回 R6.8.5(月) 第2回 R6.9.27(金) 第3回 R6.11.6(水) 第4回 R7.3.13(木)
横林自治振興 協議会	Cuddle フードコーディネーター 長尾 愛理 (株)マルブン 取締役会長 眞鍋 明	地域産品のブラン ディング、 マーケティング、 販路開拓支援	第1回 R6.7.31(水) 第2回 R6.9.26(木) 第4回 R6.12.11(水) 第5回 R7.1.30(木)
みらいの関川を 考える会	NPO 法人おむすび 理事長 大畑 伸幸	地域づくり人材育 成支援	第1回 R6.10.3(木)

④地域づくり課題解決勉強会 地域運営を支援する人材の学びと交流の場を提供

日付	テーマ	内容	参加者
R6.11.2(土)	生活 インフラ	「生活インフラは地域で運営できるのか」 場所：みそぎの里(内子町)	7人 (定員 20名)
R6.12.21(土)	空き家対策	「地域課題第1位『空き家対策』さあどうする？」 場所：IYO 夢みらい館(伊予市)	28人 (定員 30名)
R7.2.7(金)	中間支援	「行政と住民の間にある『中間支援組織』とは」 場所：ゆりラボ(久万高原町)	積雪のため 中止
R7.2.14(金)	中間支援	「行政と住民の間にある『中間支援組織』とは」 場所：SAIJO BASE(西条市)	10人 (定員 10名)

⑤地域づくりモニタリング プラットフォーム運営を円滑に進めるためのリサーチ 県下全市町で実施 延べ訪問回数：111回

⑥アーカイブ作成 事業活動により得られた知見をアーカイブ化し関係者間で共有

(3)地域づくり活動アシスト事業

地域づくり活動の活性化を図るため、県内の地域づくりグループのワークショップ

やイベントの開催、広報資料の作成などの活動経費を助成するとともに、情報誌等により活動内容を公表することで地域づくりグループのネットワークづくりを図った。
(助成上限額：100,000 円)

団体・事業名	市町	目的・主な内容
ひまわりアート実行委員会 「玉の子ビオトープ復活大作戦」	西条市	(目的) ・自然環境・保護に関する意識の向上 ・自然体験が可能な場所の造設 (主な内容) ・玉津小学校にある古池の「ビオトープ化」
みんなだーいすき 「第2回くまっこ大集合！みんなアーティスト！！」	久万高原町	(目的) ・町内文化活動の理解を深める ・地域コミュニティの活性化 (主な内容) ・体験ブースによる各団体の活動体験 ・各団体の活動発表
みらいの関川を考える会 「関川フェス 2024」	四国中央市	(目的) ・地域住民の防災意識の向上 (主な内容) ・地域と防災を中心とした体験型イベントの実施
くぼの里山会 「暮らしたくなる里山づくりを目指して！」	松山市	(目的) ・地域の知名度の向上、魅力発信 ・交流人口・関係人口づくり (主な内容) ・地元農産物等の販売等のイベントの実施 ・散策パンフレットの更新
ステラ新宮 「新宮町ファンづくりプロジェクト～あなたのそばに新宮～」	四国中央市	(目的) ・遊休耕作地の活用 ・地域資源の活用 ・交流人口・関係人口づくり (主な内容) ・そばの種まき体験

(4)元気な集落づくり応援団「関係人口」創出事業 (愛媛県から受託)

地域活動の担い手が不足している集落を応援するため、祭りや清掃等の手伝いを希望する集落とボランティア活動で応援したい企業・大学等をマッチングすることで、集落と都市との交流を促進し、関係人口の創出に取り組んだ。

	日付	場所	応援内容	応援団体名	応援者数
1	R6.6.1(土)	松山市 久谷地区	第3回松山くぼの町 ホテル祭り運営	伊予銀行 愛媛銀行	6名
2	R6.7.14(日)	久万高原町 中津地区	旧中津小学校の清掃	伊予銀行 愛媛銀行 聖カタリナ大学 ネコの手	12名
3	R6.8.4(日)	愛南町 中浦地区	夏祭り会場の設営、運営	愛媛銀行 小関電工 ネコの手	8名

4	R6.8.10(土)	四国中央市 新宮町	盆踊り準備	ネコの手	1名
5	R6.8.12(月)	四国中央市 新宮町	盆踊り片付け	ネコの手	2名
6	R6.8.14(水)	内子町 寺村集落	山の神火祭り準備	ネコの手 松山大学 聖カタリナ大学	4名
7	R6.8.15(木)	内子町 寺村集落	山の神火祭り駐車場整理	ネコの手 松山大学 聖カタリナ大学	3名
8	R6.8.16(金)	内子町 寺村集落	山の神火祭り片付け	ネコの手 松山大学 聖カタリナ大学	4名
9	R6.9.15(日)	松山市 久谷地区	第4回いよ窪野収穫祭 農産品販売補助	ネコの手 聖カタリナ大学	3名
10	R6.9.23(月)	松山市 久谷地区	第4回いよ窪野収穫祭 農産品販売補助	ネコの手 聖カタリナ大学	3名
11	R6.10.6(日)	伊予市 本谷集落	中間道の排水溝等の清掃	ネコの手 愛媛銀行	4名
12	R6.11.23(土)	久万高原町 中津地区	「結い音楽祭」の運営	伊予銀行 愛媛銀行 三浦工業 ネコの手	15名
13	R6.12.8(日)	東温市 河之内区	しめ縄龍の運搬、神社奉納	愛媛銀行 伊予銀行 三浦工業 ネコの手	11名
14	R7.3.30(日)	伊予市 本谷集落	桜の植樹	愛媛銀行 伊予銀行 ネコの手 三浦工業 聖カタリナ大学	8名
15	R7.3.30(日)	久万高原町 中津地区	「桜まつり」の運営	愛媛銀行 伊予銀行	7名

(5)地域づくり情報誌発行事業

((公財)愛媛県市町振興協会から受託)

① ネットワーク情報誌「舞たうん」の編集・発行

地域づくりに関する事例や最新情報、センターの業務などを紹介する情報誌「舞たうん」を発行し、会員や県内外の地域づくり関係者に配布した。(各 2,500 部)

番号	特集テーマ	発行
Vol.155	伝統文化と地域とのかかわり ～地域の DNA を繋ぐ～	令和 6 年 7 月
Vol.156	食でつながる人とまち ～地域の特産品を生かした賑わいづくり～	令和 6 年 11 月
Vol.157	多文化共生社会と地域づくり ～well-being な社会を目指して～	令和 7 年 3 月

② えひめイベント BOX ウェブサイトの運営

地域におけるイベント情報等をウェブサイト「えひめイベント BOX」(令和 5 年 3 月開設)に掲載し、最新情報の常時提供や検索性などウェブサイトならではの機能を活用しながら広く発信した。

(6)愛媛大学社会共創学部等との連携及び協働事業

愛媛大学社会共創学部をはじめ、地域づくり活動を積極的に展開する団体等との連携を図り、それぞれの長所を生かした協働による課題解決の取組みを促進した。

①愛媛大学社会共創学部との連携及び協働事業

愛媛大学社会共創学部のプロジェクト演習と連携協働し、地域課題の情報収集や、持続可能な地域運営について試行錯誤しながら、条件不利地域における地域づくりの実践的なノウハウを蓄積している。

- ・時 期 通年（大学生の休業期間中は除く）
- ・場 所 愛媛大学城北キャンパス、久万高原町柳谷地区等
- ・参加者 愛媛大学社会共創学部 笠松准教授、山藤講師、プロジェクト演習実践・演習受講 3 回生、2 回生など
柳井川地域づくり協議会 目戸清和部会長、稲田事務局長ほか
- ・実施概要
地域基礎情報の確認、地域資源の調査、活用検討
柳谷地区の PR 促進、地域イベントへの参加
地域における活動拠点の整備
「舞たうん」への寄稿 など

②えひめ地域づくり研究会議との協働事業

○「地域フォーラム in 佐田岬半島」

- ・テーマ 「歩キ目デス&足ラテス」掲載 100 号記念フォーラム
「今こそ！歩キ目デスでまちを看る」
- ・日 程 令和 6 年 6 月 29 日(土)
- ・会 場 佐田岬半島ミュージアム
- ・内 容 基調スピーチ：「ふるさとウォッチングから守りたいまちへ」
近代化遺産活用アドバイザー等 岡崎 直司
トークセッション：「「地域の宝・まちの宝」を守る術・未来への提案」
近代化遺産活用アドバイザー等 岡崎 直司
佐田岬半島ミュージアム館長兼主任学芸員 高嶋 賢二
建築・まち育て研究所主宰・ヘリテージマネージャー 眞田井良子
- ・共 催 (公財)えひめ地域活力創造センター、(公社)日本建築家協会愛媛地域会
- ・参加者 44 名

○「人口減少社会を生きる！フォーラム 2024」

- ・テーマ 「多文化共生社会を考える！」

- ・日 程 令和6年12月14日(土)
- ・会 場 愛媛大学共通講義棟A1階「A11 講義室」
- ・内 容 問題提起：「なぜ多文化共生社会が必要なのか？」
愛媛大学社会共創学部准教授 笠松 浩樹
特別講演：「人口減少時代を生き抜く高度外国人材の採用戦略」
ネクストステージアジア株式会社 取締役 小宮 達朗
リレートーク：
JAPANNESIA 株式会社 代表取締役社長 上田 浩之
喜久家プロジェクト 浅野 長武
SUIJI Jalan-Jalan(愛媛大学学生サークル) 橋本 舞
愛媛大学留学生 ムスリア ヌルファウジア ムクタール
グループ討議
- ・共同主催 愛媛大学地域協働推進機構、愛媛大学社会共創学部
(公財)えひめ地域活力創造センター
- ・参加者 36名

③「四国へんろ道文化」世界遺産化の会との協働事業

- 「「四国へんろ道文化」世界遺産化の会 2025 おへんろフォーラム」
- ・テーマ 「遍路の夢 世界平和への道筋と世界遺産」
- ・日 程 令和7年3月23日(日)
- ・会 場 今治市クリーンセンター(バリクリーン)管理棟多目的室
- ・内 容 基調講演1「平和の種をまく」
講師：高山 良二(認定NPO法人国際地雷処理・地域復興支援の会 理事長)
基調講演2「アンネのバラに思いをよせて」
講師：渡辺 亮一(聖イエス会カルバリー教会牧師・ホロコースト記念館 副館長)
特別座談会「四国遍路を平和と人権の尊さを訴える世界遺産に！」
登壇者：高山 良二(認定NPO法人国際地雷処理・地域復興支援の会 理事長)
渡辺 亮一(聖イエス会カルバリー教会牧師・ホロコースト記念館 副館長)
馬越 和夫(奈良原神社 宮司)
司会者：小山田 憲正(「四国へんろ道文化」世界遺産化の会 代表世話人)
- ・協 賛 (公財)えひめ地域活力創造センター、えひめ地域づくり研究会議

④(一社)えひめ暮らしネットワークとの協働事業

- 「えひめ暮らしネットワークランチ会 in tiliki」
- ・日 程 令和6年4月25日(木)、5月23日(木)、6月27日(木)、
8月22日(木)、10月31日(木)、12月5日(木)
- ・会 場 tiliki 内フリースペース
- ・目 的 地域づくりに関心のある方が集まり、ランチを食しながら互いの活動や近況を報告しながら交流を深め、それぞれの事業や活動の促進に役立てる。
- ・参加者 えひめ暮らしネットワーク会員、tiliki 職員、地域おこし協力隊(OB・OG含む)ほか

3 人材育成促進事業

「地域づくりは人づくり」を基本として、地域の特性に即して現場で地域課題に関わる人材の研修や将来の地域を担う若者の育成などの人づくりを進めていくとともに、多様な地域づくり人材との人脈の構築を図った。

(1)集落サポート人材育成事業

(愛媛県から受託)

県内地域における集落機能の維持・強化を図るため、地域の実情を把握し状況に見合った効果的に集落サポートを推進する地域づくり支援人材の育成を目的に、地域づくりに関するマネジメント能力の向上を図るとともに、地域づくり関係者のネットワーク構築を推進する研修を実施した。

- ・研修名 地域づくりマネジメント講座
- ・日 程 全3回(令和6年11月4日、11月30日、12月1日)
- ・会 場 愛媛大学城北キャンパス、西予市明浜町渡江集会所
- ・フィールドワーク 西予市明浜町渡江地区
- ・対 象 市町職員、集落支援員等
- ・講 師 愛媛大学社会共創学部准教授 笠松 浩樹
徳島大学大学院教授 田口 太郎
かりとりもさくの会 西村 吉仁、二宮 祥子
愛媛大学未完商店 榊原 文太代表ほか5名
中国学園大学教授 佐々木 公之
岡山県久米南町主幹 中村 英之
- ・内 容 地域づくり有識者による講演、地域づくり関係者による意見交換やフィールドワークを通じ、条件不利地域における地域づくりの方向性及び具体的実施内容について学んだ。(データの分析・活用、計画づくりなど含む)
- ・参加者 延べ23名

(2)大学生と県内企業によるアイデア会議開催事業

(愛媛県から受託)

大学生等の地元定着に向けて、大学生の地域や地元企業への理解・関心を高めるとともに、地域資源や地域人材の魅力を認識させるため、大学生等が地元企業と協働して課題解決等を行うワークショップを開催した。

- ・日 程 令和6年11月30日(土)
- ・場 所 新居浜工業高等専門学校
- ・参加者 新居浜工業高等専門学校の学生 10名

参加企業	テーマ
株式会社三好鉄工所	三好鉄工所にあるものを活用し、若者がワクワクするような新規事業を考案せよ！
住鋳テクノリサーチ株式会社	化学分析という職業/業務に興味を持ってもらうにはどうすればよいか
住友重機械プロセス機器株式会社	社会を支えるプラント機器。それに携わる仕事の魅力を考えよう！
ルネサスエレクトロニクス株式会社	半導体を身近に感じ、当社および半導体への理解度・認知度を上げるには

(3)えひめ地域活力創出アワード・高校生支援事業

県内の高校生が地域住民や民間、大学、行政等の関係者と関わりながら、地域活力創造に向けて主体的に取り組む実践的活動を顕彰する「えひめ地域活力創造アワードユース」を開催し、地域で活躍できる人材や地域の関係人口人材等の育成に寄与した。

- ・募集内容 高校生が主体となった地域活性化、地域づくりのための実践活動
 - 学校等での課題研究、部活動、サークル活動など
 - 高校生が地域づくり団体などと連携協働し実施している活動
- ・審 査 第一次審査：書面

- 最終審査：第一次審査結果の上位グループ等における作品の発表
- ・表彰 最優秀賞、優秀賞、審査員特別賞、特別賞、奨励賞
 - ・最終審査及び表彰式
日時：令和6年12月7日(土)、場所：テクノプラザ愛媛
 - ・応募数 15校26作品（総勢246人）
 - ・共催 えひめ地域づくり研究会議

表彰	学校名	グループ等名	タイトル
最優秀賞	上浮穴高校	くまもるず	天空の郷に伝わる地大豆・地雑穀の継承と普及～地域と連携した活動で地域資源を未来へ残せ！～
優秀賞	三崎高校	シン・せんたん部	新しいバトン～「越境」と「地域愛」～
優秀賞	大洲農業高校	生産科学科果樹プロジェクトチーム	#地域資源「バショウ」～農業のゼロエミッションシステムの構築～
審査員特別賞	北宇和高校三間分校	地域情報ビジネス部	愛媛・高知の架け橋 予土線で創る地域の未来
審査員特別賞	上浮名高校	きらくま	地域をつくる私たちの“やりたい”が叶う場所～放課後ラボで地域を元気に！～

(順不同)

(4)(一財)地域活性化センターとの連携事業

令和4年4月に地域活性化センター（東京都）と締結した「地域の活力創造に向けた事業実施及び人材育成に関する連携協定」に基づき、相互の職員交流やインターン派遣、共同事業を実施し、職員の人材育成や地域づくりの支援などの新たな価値の創造を図った。

①地域活性化センター主催セミナー等の受講

〈地方創生フォーラム〉

開催日	テーマ	内容
R6.11.19(火)	誰もが活躍できる地域づくり	・基調講演 『共助のデザインが新しい時代を創る』 古田 秘馬（プロジェクトデザイナー/株式会社umari 代表） ・パネルディスカッション 『地域住民と関係人口の共感・協働・共創による地域の未来創り』 コーディネーター 加藤 遼（株式会社パソナ JOB HUB ソーシャルイノベーション部長） - パネリスト 板垣 義男（一般社団法人えひめ暮らしネットワーク 代表理事） 倉重 宜弘（面白法人カヤックちいき 資本主義事業部地域事業プロデューサー） 坂井 亜優（株式会社キッチンハイク こどもと地域の未来総研事業統括）

③ 相互インターンシップの実施

両センターの職員が一定期間、インターンとして互いの業務や事業に携わり、職員の資質向上や組織を超えた人的ネットワークの構築を図った。

〈当センターから地域活性化センターへのインターン〉

日程	参加者	主な内容
R6.7.22～ 7.26 (5日間)	1名	・デザイン講座 ・オフィス見学 ・東京おもちゃ美術館見学 ・人材養成塾 ・農林水産省訪問、等

〈地域活性化センターから当センターへのインターン〉

日程	参加者	主な内容
R6.11.26～ 11.30 (5日間)	3名	・伊予市フィールドワーク ・大塚理事長との懇談 ・久万高原町、砥部町フィールドワーク ・伊予市サイクリングツアー ・新居浜高専生と県内企業とのアイデア会議事業参加

④ その他の連携

- ・地域活性化センター情報誌「地域づくり」への寄稿
令和7年3月号

4 その他関連事業

(1) ホームページ等による情報発信

センターのホームページや SNS (Facebook、Instagram) を通じて、事業活動の紹介や地域づくりに関する各種情報を広く周知している。また、各事業の実施に当たってはパブリシティ活動に努め、メディアによる露出を図った。

(2) 調査等受託事業

- ・愛媛県観光物産関係事業者満足度調査事業 ((一社)愛媛県観光物産協会より受託)